


令和 6 年度 すくわくプログラム

4歳児クラスきりん組		報告者 梶山 祐果		
テーマ	この音は何？	スケジュール	日にち	令和6年10月11日
			時間	
			参加人数	
ねら動いの	同じ容器に入っている物でも中身によって音が違う。子ども達とゲーム感覚で音の高さや違い、何の音かを尋ねた時の子どもの反応を検証する			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな曲に合わせて、身体を動かす（導入） ・容器に入った（お米、マカロニ、大豆、ビーズ）ものの音を聞き分け、何が入っているかを子どもたちと考える ・スカーフや楽器を使ってピアノの音に合わせてリズム打ちをする。 	準備品	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ ・何かな容器 ・スカーフ ・カスタネット ・鈴 ・タンバリン 	
子どもの様子	<p>音の速さで歩く、走る、曲がとまったら、止まるを体験した。走る時加速がありすぎるお子さんには「運動会のかけっこじゃないよ」の言葉かけに子どもたちは理解ができたようだった。保育士の動きを見ながら行っている様子も見られた。</p> <p>永井先生が用意した乳飲料の容器には、米、マカロニ、大豆、ビーズが入っていて、隠しながら子どもたちに「音」を聞かせると、「優しい音」「高い音」「さっきにより、小さい音」「シャラシャラした音」などの声が上がった。4歳児には何の音かを尋ねる。「大豆」はマラカスの音！と子どもが発見し正解が出たが、「米」「ビーズ」「マカロニ」は正解が出ず、物を見て「あー知ってる！」 {サラダに入ってる} などの声が上がった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> ・スカーフを振りながら、1, 2, 3, 4, 5の5で上に投げチャッチする遊びでは、カウントしなくてもピアノの音を聞いてできる子もいた。 			
保育士の気づき	<p>「何かな容器」はよく聞くと音の高さや音色が違い、中身がわかってから鳴らしてみると、子ども達にも理解でき、音への興味に繋がった。子どもたちは音を聞いて小さいもだとは分かっているが、何かは分らなかった。手作りマラカスの音に似ていたことで「大豆」だと分かったのは、聞き分けできていたんだと思った。少人数なので、一人ひとりの子の意見に耳を傾けることができるのも良い。今後の活動で大きさの違うペットボトルなどで音あてをしてみるのも楽しいと思う。子どもたちを見て永井先生のピアノに合わせて、身体を動かす楽しさが見られた。</p>			